

グローバル化が進むなか、わが国のヘルスケア・ライフサイエンス分野における競争力の低下は著しく、世界における熾烈な競争に打ち勝つための手段を考えることは喫緊の課題である 1-3)。さらに、わが国の国民医療費の高い水準の伸びに伴い、健康・医療分野における抜本的な構造改革が急務となっている 4, 5)。競争力の獲得と相反する医療費の抑制、この両者を同時にかつ比較的短期間に達成するためには、生産性と効率性を上昇させる必要がある。

そのための手段としていくつかの可能性を検証した。第一に、わが国の強力な強みである基礎研究分野が最も重要な産業である製薬産業における科学研究の意義と技術と知識の蓄積が企業の利益に及ぼす影響について、科学研究の成果として獲得される技術優位性と知識の蓄積がもたらすイノベーションが企業の利益に結びつく可能性を検証した。第二に、医薬品開発におけるICT活用が新薬開発型の国内製薬企業におけるIT投資の素生産性に与える影響について、ICT投資増加が技術やイノベーションを通じた企業の競争力獲得への貢献を検証した。第三に、医療現場における医療の質と生産性に関して、ICTの活用が医療の効率化の結果として医療の質の改善につながる可能性について、公開データを用いて検証した。最後に、医療現場におけるICT活用が医療の質に及ぼす影響について、医療の質の変化が病院における生産性に対する影響を、病院業務における生産性の向上させるためには、どのような医療の質の改善が求められているかを明らかにすることにより検証を試みた。

本研究では、製薬産業、医療現場におけるICTの活用により生産性と効率性の上昇、企業の科学研究による技術、知識の蓄積に伴うイノベーションの創出、医療現場における医療の質と生産性向上による効率的な医療の提供による医療費の抑制、ICTを活用した医薬品開発分野での競争力の獲得、これらの検証から得られた総合的な知見から、わが国のヘルスケア・ライフサイエンス分野の競争力向上につながる可能性を示した。

1. 経済産業省「情報処理実態調査報告書：企業における IT 関連費用 2018
2. 製薬協 次期「健康・医療戦略」、「医療分野研究開発推進計画」の策定に向けた提案、2019
3. 藤原尚也、野林晴彦「意識調査に基づく医療消費者のエンパワーメントのあり方」 2004
4. 前田由美子「社会保障と財政について 一国の 2018 年度予算を中心に」『日医総研ワーキングペーパー』 2018
5. 佐藤弥 「医療の効率化と医療の質」 『山梨医大誌』 2001